

マイクロファイナンス・ボンド

欧州復興開発銀行 2013年6月20日満期南アフリカ・ランド建債券



©European Bank for Reconstruction and Development

期間 約**3年** 利回り 年**6.70%** 課税後利回り 年**5.36%**

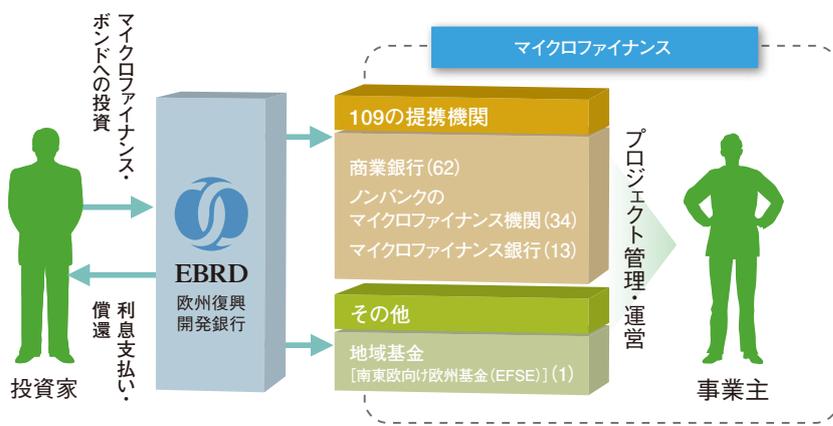
(注)利回り・利率は南アフリカ・ランドベースです。(為替の考慮をしておりません)

売出要項

【利率】年6.70%	【受渡日】2010年6月15日
【売価格】額面金額の100%	【利払日】毎年6月・12月の各20日/年2回
【お申込単位】額面金額1万南アフリカ・ランド単位	【償還日】2013年6月20日
【売期間】2010年6月8日～2010年6月10日	【格付】Aaa(ムーディーズ)/AAA(S&P)/AAA(フィッチ)

欧州復興開発銀行の「マイクロファイナンス・ボンド」は、
人々の所得向上を促すために、中小企業に対する金融サービスの提供等を支援します。

欧州復興開発銀行(以下、EBRD)は、当該債券の残存期間中、EBRDが事業を行う国々の起業家に対するマイクロファイナンスを提供する金融機関への直接金融支援、あるいは持株会社、株式ファンド、投資ピークルや他の特別目的会社を通じての間接金融支援に、同債券発行による調達資金と同額以上を充当すべく努力をします。当該目的に全額充当できない場合は、EBRDを設立する協定に則った一般事業目的に使用します。本債券の元利金の支払いは、EBRDのマイクロファイナンスプログラムに基づく投融資の実績に左右されず、また、連動するものでもありません。



ご投資にあたってのリスク等

- 本債券を円換算した価値は、利金・償還金として支払われる外貨の円に対する為替水準により上下いたしますので、これにより投資元本を割込むことがあります。
- 本債券の価格は金利変動等により上下いたしますので、償還前に売却する場合には、投資元本を割込むことがあります。
- 本債券の発行者および利金・償還金として支払われる外貨発行国の経営・国情・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割込むことがあります。

手数料など諸費用について

- 本債券をお買付けいただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。
- 本債券は外貨建債券ですので、外国証券取引口座設定申込書を取りかわし、口座管理料[通常、年間3,150円(税込)]を別途お支払いいただきます。

ご投資にあたっての留意点

- 本表示は当該債券の発行に関する情報をお知らせするものです。お申込みにあたっては当該債券の詳細について記載した販売説明書をご覧のうえ、ご検討されることをおすすめします。
- 販売額に限りがありますので、売切れの際はご容赦ください。
- 売出期間中はご購入のお申込みを取消すことができます。その場合、発生する為替差損はお客様のご負担となります。
- お取引にあたっては、「外貨建て債券の契約締結前交付書面」をお読みください。

EBRDが手がけるマイクロファイナンス

欧州復興開発銀行(以下、EBRD)は、正規の金融機関からは融資を受けることの出来ない民間のマイクロ・小企業(Micro and Small Enterprise 以下、MSE)に対して、さまざまな金融機関を通じ、持続的な金融サービスを提供しています。

MSE発展の重要性

MSEが持続的に成長すると、雇用創出や民間セクターの成長、景気回復を促すと考えられています。小規模ビジネスの分野では起業家精神・競争力・革新が生まれ、技術が進歩します。

MSEは、融資によって事業を拡大・成長させることが可能となり、それが雇用の増加、所得向上や貧困からの脱却、やがては経済成長へと繋がります。MSEの発展こそ新規雇用の源泉であり、経済成長の原動力なのです。

EBRDのマイクロファイナンス

- EBRDは、東欧および中央アジアにおいて最大のマイクロファイナンス投資機関です。
——1994年～2009年の投資額:15億ユーロ
- EBRDは、金融機関を通してMSEを支援しています。EBRDが活動している中東から中央アジアにまたがる地域では、MSEは正式な資金調達がいよいよ困難ですが、EBRDからの支援によって正式な資金調達へのアクセスが可能となっています。
- 既存の銀行と共にMSEの支援に取り組むだけでなく、マイクロファイナンス銀行およびノンバンクのマイクロファイナンス機関の設立を支援しています。
- 提携金融機関に対し、適切な貸付手順に係る制度構築および研修などの技術支援を行ない、効率的で統制のとれた融資を実行します。

金融危機からの脱却に向けて

金融危機以前は、多くの民間金融機関がMSEセクターに参入して、小額の借り手に対する融資を拡大しました。しかし、金融危機により銀行が融資を削減したため、小額の借り手であった小規模事業者が入手できる資金は減少し、事業分野は縮小しました。同時に資金調達コストが上昇した結果、多くの小額の借り手にとっては採算が合わなくなったのです。EBRDは、マイクロファイナンス事業を今後も継続して積極的に展開し、MSEへの支援を強化する予定です。

『マイクロファイナンス・ボンド』により調達された資金は、
主としてEBRDのマイクロファイナンス活動に活用され、MSEの成長・発展を支援します。

融資事例



EBRDは、さまざまな組織(109の提携機関および1つの地域基金)と連携して活動しています。提携機関の2,500にわたる支店網を通じて、アルバニアのパン業者からタジキスタンの有力な女性経営者まで、多岐にわたる事業者へ融資を行なうことが可能です。

Case I

モンゴル ハスバンク XacBank Mongolia

ハスバンクでは、マイクロファイナンスを提供する顧客からゲル(遊牧民の伝統的な移動式住居)を担保として受け入れています。価値のある担保を要求するよりも、借り手の評判や考え方を評価する方がより重要だからです。

1998年に設立されたハスバンクは、現在では56,000以上の顧客に金融サービスを提供しています。

ハスバンク マグバン・ポールド総裁 「我々は、MSEへの融資という社会的使命とともに事業を開始しました。そして、MSEにもっとも信頼されるパートナーとなったのです」

首都ウランバートル郊外にあるハスバンクの支店



©European Bank for Reconstruction and Development

Case II

ブルガリア プロクレジットバンク ProCredit Bank Bulgaria

プロクレジットバンクは、中小規模の農場経営者に対して、特別な条件で融資を行なっています。

家畜飼育農場を経営するイヴァン氏は、プロクレジットバンクから融資を受けている一人です。彼は、2006年にプロクレジットバンクを知るまで、銀行から融資を受けたことはありませんでした。現在、イヴァン氏の農場では羊と牛に加え、11頭の馬(ハノーバー種と英国産のサラブレッド種)を繁殖・乗馬用に飼育しています。イヴァン氏「プロクレジットバンクを利用することで、ビジネス・パートナーだけでなく、農場を度々訪ねてくれる友人を見つけることができ、幸せです」



©European Bank for Reconstruction and Development

欧州復興開発銀行とは?

- 欧州復興開発銀行(European Bank for Reconstruction and Development、以下EBRD)は、1991年に設立された国際金融機関です。
- 日本を含む61の加盟国および2つの政府系機関(EU、欧州投資銀行)が出資しています。
- EBRDの役割は、中欧から中央アジアにまたがる地域の29カ国において、市場では十分にニーズが満たされない民間部門への投資により、起業家精神を促進し、開かれた市場経済への移行を実現することです。
- EBRDは最高格付であるAAAを付与されており、EBRDの資本ならびに経営、財政政策の強さを裏付けています。

インパクト・インベストメント

～投資を通じた社会貢献～

大和証券では、資金を必要としている人と資金を持つ人をつなぐという証券会社本来の役割を通じ、投資家の皆さまとともに、貧困をはじめとする様々な問題の解決に寄与していきたいと考えております。

インパクト・インベストメント

欧米では今、“インパクト・インベストメント (Impact Investment)” という新たなトレンドが動き出しています。インパクト・インベストメントとは、経済的な利益を生み出すと同時に、貧困や環境などの社会的課題に対して、より直接的で即効性のある解決を目指す投資のことです。投資リターンのみならず社会的リターンも期待できる、新しい投資のかたちであるといえます。日本ではまだ馴染みのある言葉とはいえませんが、「良いことをしながら良い投資をしたい」と考える人は増えていくのではないのでしょうか。

社会的課題の解決に向けて -大和証券の取り組み-

大和証券ではこれまで、途上国の子どもたちへの予防接種活動を支援する『ワクチン債』、水問題に取り組むプロジェクトを支援する『ウォーター・ボンド』、地球温暖化対策の柱となる再生可能エネルギーやエネルギー効率化プロジェクトを支援する『エコロジー・ボンド』など、社会貢献につながる金融商品を販売してきました。今回の『マイクロファイナンス・ボンド』で調達された資金は、民間の中小企業に対する金融サービスの提供や技術支援に活用され、人々の所得向上を促します。今後も、こうしたインパクト・インベストメント商品の開発・販売に積極的に取り組んでいきます。

大和証券コールセンター  **0120-010101** 平日 8:00～22:00 土・日・祝日 9:00～17:00

- 資料請求については、上記時間帯はオペレーターが、その他の時間帯は自動音声応答にて受付けております。
- 取扱商品等のお問い合わせは平日8:00～18:00に受付けております。

■新発外貨建て債券注文受付時間・・・平日9:00～18:00（※お申込み最終日のみ、11:00まで）

インターネット（オンライントレード）でもお申込みいただけます。 大和証券ホームページ www.daiwa.jp



ダイワのポイントプログラム
うれしい特典いっぱい！

本債券はポイントプログラムの対象商品になります。
詳細は大和証券 本・支店、またはコールセンターへお問い合わせください。

販売説明書のご請求・お申込みは・・・

大和証券

Daiwa Securities

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号
加入協会 日本証券業協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会、
社団法人 金融先物取引業協会